
4061. フリータイム情報登録

業務コード	業務名
FTR	フリータイム情報登録

1. 業務概要

保税地域、船舶、航海番号単位またはコンテナ番号、B/L番号毎にフリータイムを登録する。

(1) 保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合（識別区分「S」）

フリータイム情報を登録する。

登録されたフリータイム情報は、入力日から一定期間経過後システムから削除される。

(2) コンテナ番号単位の登録の場合（識別区分「C」）

入力されたコンテナ番号毎にフリータイム日付を登録する。

(3) B/L番号単位の登録の場合（識別区分「B」）

入力されたB/L番号毎にフリータイム日付を登録する。

2. 入力者

保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY

3. 制限事項

(1) 保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合

①基本フリータイム情報の登録は最大20回とする。

②イレギュラーフリータイム情報の登録は最大20回とする。

(2) コンテナ番号単位またはB/L番号単位の登録の場合

1業務で入力可能なコンテナ番号またはB/L番号は最大200件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

(A) 保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合

①入力者が船会社の場合は、入力された船舶コードに対する船舶DBの船舶運航者と同一であること。

②入力者がCYで、かつCYについて登録する場合は、当該CYの管理者であること。

③入力者が保税蔵置場で、かつ保税蔵置場について登録する場合は、当該保税蔵置場の管理者であること。

(B) コンテナ番号単位またはB/L番号単位の登録の場合

①入力者が船会社の場合は、積荷目録情報登録で登録された本船利用船会社であること。

②入力者がCYまたは保税蔵置場の場合は、コンテナまたは貨物が蔵置されている保税地域の管理者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 船舶DBチェック

保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合は、入力された船舶コードに対する「船舶基本情報登録（VBX）」業務または「船舶基本情報等事前登録（WBX）」業務がされていること。

(4) コンテナ情報DBチェック

コンテナ番号単位の登録の場合に以下のチェックを行う。

①入力されたコンテナ番号に係るコンテナ情報DBが存在すること。

②輸入コンテナであること。

③保税地域に蔵置されていること。

(5) 貨物情報DBチェック

B/L番号単位の登録の場合に以下のチェックを行う。

- ①入力されたB/L番号に係る貨物情報DBが存在すること。
- ②輸入貨物であること。
- ③コンテナ詰された貨物でないこと。
- ④保税地域に蔵置されていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) フリータイム情報DB処理

保税地域、船舶、航海番号単位の登録の場合は以下の処理を行う。

- ①入力された保税地域コード、船舶コード及び航海番号に対するフリータイム情報DBを作成する。
- ②入力内容を登録する。なお、既に登録されている場合は、上書きで登録する。

(3) コンテナ情報DB処理

コンテナ番号単位の登録の場合は、コンテナ情報DBに対してフリータイム日付を登録する。なお、既に登録されている場合は、上書きで登録する。

(4) 貨物情報DB処理

B/L番号単位の登録の場合は、貨物情報DBに対して蔵置場所に対するフリータイム日付を登録する。なお、既に登録されている場合は、上書きで登録する。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(6) 注意喚起メッセージ出力処理

コンテナ番号単位またはB/L番号単位の登録の場合は、内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
フリータイム登録情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力者が船会社または船舶代理店である (2) 識別区分がコンテナ番号単位またはB/L番号単位である	コンテナ及びB/L番号に係る貨物が蔵置されている保税地域
エラー通知情報 (フリータイム登録)	識別区分がコンテナ番号単位またはB/L番号単位の場合	入力者

7. 特記事項

本業務でコンテナ番号単位またはB/L番号単位の登録の場合は、多量のコンテナ番号またはB/L番号を処理するため、下述の処理の流れとなる。

- ①入力受付条件のチェックをした後、処理結果通知の出力処理を行う。
- ②多量のコンテナや貨物に対して、20件単位に処理を分割してコンテナ情報DBチェック、貨物情報DBチェック、DB処理等の内部処理を行う。

- ③分割された内部処理単位に処理が完了した後、チェックにてエラーとなったコンテナ番号またはB/L番号をエラー通知情報（フリータイム登録）にその旨を出力する。
（エラー通知情報（フリータイム）登録は最大10件出力される。）